

1 展示事業

1-1 所蔵品展示

1980年代の美術

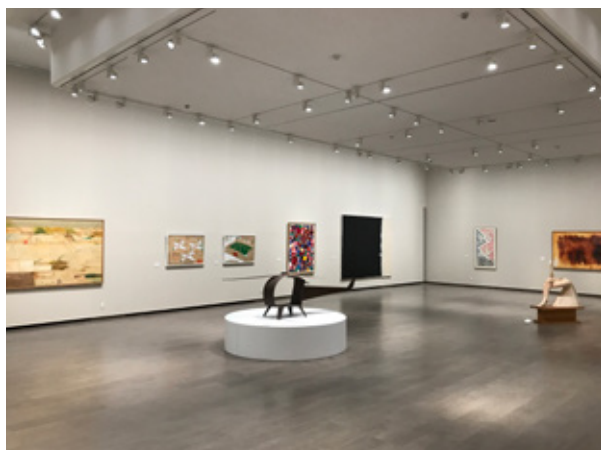
2022/4/5 [火] - 7/22 [金]

美術がボーダレスに社会や世界と繋がっていった1980年代の動向について紹介した。

✂ 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室 1a
- ・出品点数：23点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料
() 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは8ページ



日本からメキシコへ、メキシコから日本へ キシオ・ムラタ展

2022/4/5 [火] - 7/22 [金]

1954年の日墨文化協定を機に、メキシコへ渡り作家活動をはじめたキシオ・ムラタ（村田實史雄／1910－1992）は、両国文化親善のための架け橋となって国際的に活躍した画家。キシオ・ムラタにとって幼少期から青年期を過ごした岐阜は心の故郷であった。日墨文化協定の記念行事としてメキシコで開催した個展を機に同国と関係を深め、1964年に移住。詩情溢れる色鮮やかな画風で色彩の魔術師としてメキシコの画壇で知られ、1988年には日墨修好百周年記念として個展がメキシコ国立近代美術館で開催されるなど、両国の架け橋として文化交流に大きな影響を与えたキシオ・ムラタの画業の一端を紹介した。

✂ 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室 1b
- ・出品点数：38点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料
() 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは9ページ



ルドンの色

2022/4/5 [火] - 7/22 [金]

フランスの画家オディロン・ルドンの油彩画等を中心に紹介した。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1c
- ・出品点数：15点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、
高校生以下無料
() 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは9ページ



ぎふの日本画 東に歩む

2022/4/5 [火] - 6/26 [日]

岐阜ゆかりの日本画家の系譜を辿るシリーズ「ぎふの日本画」。第3回目は明治から昭和にかけて開校した東京美術学校（現・東京藝術大学）や帝国美術学校（現・武蔵野美術大学、多摩美術大学）に学んだ画家たちの作品を紹介した。

明治時代以降、時代の変化とともに新しい日本画の表現を追求した横山大観、川合玉堂、篠田柏邦、前田青邨、川崎小虎、加藤栄三、加藤東一、守屋多々志、土屋禮一ら、東京で画家を志す者、はじめ京都で学びながら東京に新天地を求める者など、岐阜の日本画家や同時代に東京画壇で活躍した画家の作品を展示。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数：33点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、
高校生以下無料
() 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは10ページ



特集：ラリッサ・サンスール

2022/4/19 [火] - 6/26 [日]

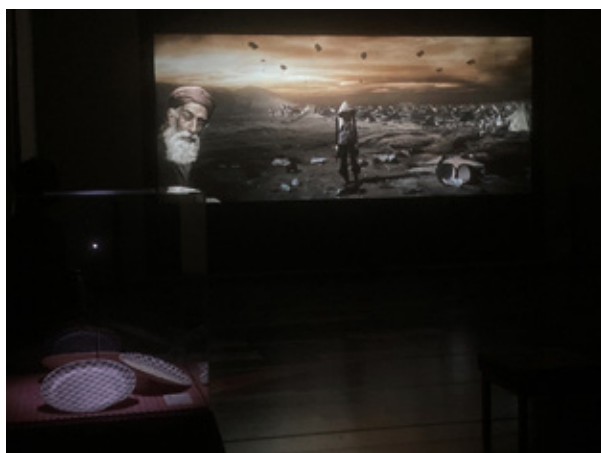
2019年のベネチア・ビエンナーレで、パートナーの出身国であるデンマーク館代表を務めたパレスチナ人アーティストのラリッサ・サンスール。

当館で2017年に開催した「ディアスポラ・ナウ！」展をきっかけに収集した作品を中心に、彼女の映像作品を紹介した。

✂ 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室2a
- ・出品点数：3点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料
()内は20人以上の団体割引料金
- ・協力：タグチ現代芸術基金

作品リストは10 ページ



いろとかたちー工芸・立体を中心に

2022/7/30 [土] - 9/11 [日]

あか・あお・きいろーまる・さんかく・しかく。私たちは日々、たくさんの色と形に囲まれ過ごしている。作家の手によって生み出された作品にはどんな姿が潜んでいるのだろうか。陶磁器、ガラス、漆、染織といった多様な技法による工芸に表現される「いろとかたち」に着目し幅広く紹介。

✂ 概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1d
- ・出品点数：50点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、高校生以下無料
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは11 ページ



鯉江良二 紙のしごと

2022/7/30 [土] - 9/11 [日]

鯉江良二は、2020年に亡くなるまで、やきものに加え、鉄やアルミ、ガラス、紙など多様な素材を用い、インスタレーションや、パフォーマンスなど幅広い表現領域を横断し、メッセージ性の強い作品を発表し続けた。

本展では美濃和紙による代表作《ミネアポリスの光と影》と晩年の書《雨》を中心に、鯉江の制作における根幹を紹介した。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1c
- ・出品点数：4点
- ・観覧料：一般 340(280) 円、大学生 220(160) 円、
高校生以下無料
()内は20人以上の団体割引料金

作品リストは12ページ



1980年代の美術

2022年4月5日(火) から7月22日(金) まで
○印は5月22日(日) まで、●印は5月24日(火) から展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
元永定正	せんとあかいのかたち	1987	アクリル、画布
三尾公三	海の詩(B)	1980	アクリル、木製パネル
ピエール・アレシンスキー	○ 短絡	1988	エッチング、紙
高橋秀	記憶の風景	1988-89	アクリル、画布
田中敦子	'83B	1983	合成樹脂エナメル塗料、画布
中西夏之	ㄥ字型—左右の停止III	1986	油彩、画布
ノヴェット・フィノッティ	誘惑しないで	1969 (再制作1987)	大理石、毛皮
井田照一	無題	1983	油彩、画布
樋田伸也	通り過ぎた風景	1983	油彩、画布
榎倉康二	Figure B- No.58	1986	アクリル、綿布
遠藤利克	● 天使のためのプラン	1989	鉄、木、タール、煤、鉛、チョーク
坂口正之	仮作体「84-7」	1984	鉄板
パトリック・トザニ	○ 公共広場	1983	チバクロームプリント、紙
日比野克彦	○ PRESENT AIRPLANE ○ PRESENT SOCCER ● ERROR ● SHINJUKU SPECIAL	1982 1982 1982 1983	アクリル絵具、色鉛筆、墨、紙、ベニヤ、ダンボール アクリル絵具、墨、色鉛筆、ジェッソ、ボール紙、ダンボール アクリル絵具、色鉛筆、墨、ダンボール アクリル絵具、チャコールペンシル、色鉛筆、墨、紙、ダンボール
美術館ホール			
ジャコモ・マンズー	大きな枢機卿	1982	ブロンズ
庭園			
高橋清	第3の太陽	1982	白御影石
李禹煥	関係項 関係項	1986 1987	鉄、自然石 鉄、自然石
杉浦康益	陶による石の群	1985	陶
郭仁植	作品 86-ST	1986	米松、墨

日本からメキシコへ、メキシコから日本へ キシオ・ムラタ展

2022年4月5日(火) から7月22日(金) まで

作家名	作品名	制作年	技法・素材
村田實史雄(キシオ・ムラタ)	春	1947	油彩、画布
	朝	1949	油彩、画布
	異人館	1952	油彩、画布
	白い道	1953	油彩、画布
	婦人像	1954	油彩、画布
	緑陰	1956	油彩、画布
	空港	1956	油彩、画布
	砂漠の歌	1956	油彩、画布
	森	1957	油彩、画布
	楽器のある静物	1958	油彩、画布
	海の家	1958	油彩、画布
	春	1960	油彩、画布
	静かな丘	1960	油彩、画布
	早春	1962	油彩、画布
	赤い風景	1962	油彩、板
	女性像(佐杜子)	1962	油彩、板
	幼児の記憶	1964	油彩、画布
	田園	1964	油彩、画布
	秋	1964	油彩、画布
	女人像	1965	油彩、画布
	緑の地帯	1965	油彩、画布
	詩人の庭	1965	油彩、画布
	砂漠の花	1972	油彩、画布
	砂丘の花	1972	油彩、画布
	マヤの遺跡	1972	油彩、画布
	月夜の窓	1972	油彩、画布
	カリブ海の燈台	1972	油彩、画布
	月影	1978	油彩、画布
	遺跡の祭典	1978	油彩、板
	森の小道	1978	油彩、画布
	高原の朝	1978	油彩、画布
	二人の会話	1978	油彩、画布
	星の物語 別題 メキシコの神話	1983	油彩、画布
	月と魚(夢) 別題 海の幻想	1984	油彩、画布
	思い出の朝 別題 初冬(思い出の朝)	1984	油彩、画布
	森と人 別題 砂漠の謎	1984	油彩、画布
	夏 別題 ピラミッドの祭典	1984	油彩、画布
	砂漠の陰	1984	油彩、画布

ルドンの色

2022年4月5日(火) から7月22日(金) まで
○印は5月22日(日) まで、●印は5月24日(火) から展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
オディロン・ルドン	ペイルレバードのボブラ	不詳	油彩、紙
	風景	不詳	油彩、紙
	● まなざし	1889-94 頃	パステル、紙
	神秘的な対話	1896 頃	油彩、画布
	● 翼のある横向きの胸像(スフィンクス)	1898-1900 頃	パステル、紙
	カインとアベル	不詳	油彩、画布
	オリヴィエ・サンセールの屏風	1903	デトランプ、油彩、画布
	○ 青い花瓶の花々	1904 頃	パステル、紙
	○ 黒い花瓶のアネモネ	1905 頃	パステル、紙
	ファエトンの墜落	1905-06 頃	油彩、板
	アポロンの戦車	1906-07 頃	油彩、画布
	オルフェウスの死	1905-10 頃	油彩、画布
	花	1905-10 頃	油彩、画布
	騎馬兵の戦い	1910 頃	油彩、画布
	● 女漁師	不詳	パステル、紙

ぎふの日本画 東に歩む

2022年4月5日(火) から6月26日(日) まで
○印は5月22日(日) まで、●印は5月24日(火) から展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
寺崎広業	○ 秋江帰帆図	1910	絹本墨画淡彩
横山大観	● 月明 (旧題: 前赤壁)	1913	絹本着色
川合玉堂	○ 鶺鴒図 ○ 養老図 ● 藤 ● 夏富士	1902 1902 1929 1955頃	絹本着色 絹本着色 紙本着色 紙本着色
小室翠雲	○ 濯足萬里流図	1932	紙本着色
篠田柏邦	● 苗とり ○ 晩春小景	1920 1933	絹本着色 紙本着色
前田青邨	○ 烟雲古塔	1924	絹本墨画
川崎小虎	○ 焼野の春 ● 初夏の水辺(鹿の親子) ● 沼三題 かいつむり ○ おたまじゃくし	1937 1940 1940 1940頃	紙本着色 紙本着色 紙本着色 紙本墨画
長谷川朝風	● 苑	1967	紙本着色
加藤栄三	○ 春暁 ○ もくれん ● ばら ● 鉄線花 ● 烟雨の中	1935-44頃 1954 1961 1962 1970	絹本着色 紙本着色 紙本着色 紙本着色 紙本着色
守屋多々志	● 噴水 ● バラ	1936 1959頃	紙本着色 紙本着色
加藤東一	● 燎火 ○ 高山夜祭り ○ 木魂一淡墨桜 ● 望郷	1981 1982 1984 1993	紙本着色 紙本着色 紙本金地着色 紙本墨画
笠井利之	○ 岬の椿	1968	紙本着色
稗田一穂	○ 春野	1976	紙本着色
川崎鈴彦	○ ビール工場 ● 南溟	1956 1982	紙本着色 紙本着色
土屋禮一	● プローチを付けた自画像 ● Y子 ○ 雲龍	1972 1974 2011	紙本着色 紙本着色 紙本墨画淡彩

展示室2a 特集：ラリッサ・サンスール

2022年4月19日(火) から6月26日(日) まで
※はタグチ現代芸術基金からの特別出品

作家名	作品名	制作年	技法・素材
ラリッサ・サンスール	※ ネーション・エステート	2012	9分、カラー、ステレオミックス
ラリッサ・サンスール&セーレン・リンド	未来では、彼らは最高級磁器で食事していたことになる	2016	29分、カラー、ステレオミックス、(磁器3点)
※ イン・ヴィトロ		2019	28分、モノクロ、7.1ch

いろとかたちー工芸・立体を中心に

2022年7月30日(土) から9月11日(日) まで
○印は8月21日(日) から、●印は8月23日(火) まで
□ … 個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
福田旭水 (器) 川合玉堂 (画)	金華山焼 銘 鶯舟	不詳	灰釉、鉄絵、赤絵、陶器
林景正	黄瀬戸胴紐茶碗	1977	黄瀬戸、陶器
岩田藤七	● 水指 貝	1973 1976	宙吹き、色ガラス 宙吹き、色ガラス
五代 加藤幸兵衛	○ 秋草彩金匱	1977	金彩、陶器
荒川豊蔵	志野菊香合 鼠志野梅花平一文字香合 瀬戸黒茶碗 銘 寒鴉 志野蟹香合 染付扇面詩文山水図向付 瀬戸黒金彩木葉文茶碗 赤絵網目魚草文火入 幽	1954頃 1954-55 不詳 1964 1965頃 1971 1971-72頃 1975	志野、陶器 鼠志野、陶器 瀬戸黒、陶器 志野、陶器 染付、磁器 瀬戸黒、金彩、陶器 染付、赤絵、磁器 墨、和紙
川瀬竹翁	金欄手透彫花鳥文仙蓋瓶	1957	金欄手、磁器
各務鑛三	飾り皿 銘 折り ● 匱 ○ 水指 瓢型花器	1929 1971 1976 1983	宙吹き、グラヴェール、クリスタルガラス 型吹き、カット、クリスタルガラス 宙吹き、気泡封入、クリスタルガラス 宙吹き、カット、クリスタルガラス
鎌倉芳太郎	● 型絵段染山水文様着物	1975以降	型絵染、絹
塚本快示	青白磁大皿 ● 青白磁輪花碗	1979 1981	青白磁、磁器 青白磁、磁器
篠田桃紅	舟	1994	墨、和紙
佐治賢使	ドライブウェイ	1971	彩漆、漆
宗廣力三	○ どぼんこ染黄地立涌文様絣着物 初期郡上紬裂地	1983 1955-70頃	紬、絣、絹 紬、絣、絹
三浦景生	夢談議Ⅶ	2003	布象嵌、ステンシル等混合技法、白山紬
岩田久利	皿 花器	1980 1986	スランピング、色ガラス 宙吹き、色ガラス
小林文一	碧彩鳥文器	1981	碧彩、陶器
加藤賢司	赤絵角皿	1981	赤絵、陶器
加藤孝造	志野陶器	1980	志野、陶器
伊藤慶二	黒茶碗	2005頃	鉄釉、陶器
北村武資	上代羅帯	不詳	羅、絹
鯉江良二	電車の皿 一寸手出口 一寸手出口出(白) 一寸手出口出(黒)	1982頃 2014-16 2014-16 2014-16	白釉、陶器 宙吹き、グラヴェール、ガラス 宙吹き、サンドブラスト、グラヴェール、ガラス 宙吹き、サンドブラスト、グラヴェール、ガラス
豊場惺也	粉吹茶碗	2004 - 5	粉吹、陶器
堀菱子	遙か	1994	型絵染、絹
西功一	練上双文焼×花器「銀河」	1989	練上、陶器
土屋順紀	● 生絹着物「細水」 ● 紗着尺「細ら川」 ○ 紬着物「日月」 ○ 紋紗着尺「夏菊」 □ 紋紗裂地	1997 1998 1991 2003 1999-2010頃	絣、絹 紗、絣、絹 紬、絣、絹 紋紗、絣、絹 紋紗、絣、絹
東正之	青釉壺	2014	青釉、陶器
酒井博司	藍志野壺	2012	藍志野、陶器

1 展示事業

2 教育普及活動

3 県民関連

4 所蔵作品と図書

5 組織と関連法規

6 沿革と施設

7 利用案内

作家名	作品名	制作年	技法・素材
鈴木徹	緑釉花器	2012	緑釉、陶器
若尾経	象牙瓷合子	2014	象牙瓷、陶器

鯉江良二 紙のしごと

2022年7月30日(土) から9月11日(日) まで
☐ … 個人蔵

作家名	作品名	制作年	技法・素材
鯉江良二	証言ーコンパクト・オーシャン	1985	シェルペン、注射器、木の葉
	証言ーPRESENT	1985	シェルペン、ガラス瓶、金属
	☐ 雨	1993	墨、和紙
	ミネアポリスの光と影	2008	美濃和紙、爪楊枝、電球

常設展示

作家名	作品名	制作年	技法・素材
美術館ホール、ロビー			
ジャコモ・マンズー	大きな枢機卿	1982	ブロンズ
ヴァレリアーノ・トルッピアーニ	錨を上げる	1975	ブロンズ、アルミニウム、鉄
庭園(正面)			
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	勝利のヴィーナス	1914	ブロンズ
アリスティド・マイヨール	地中海	1902-05	ブロンズ
高橋清	第3の太陽	1982	白御影石
李禹煥	関係項	1986	鉄、自然石
	関係項	1987	鉄、自然石
大成浩	風の影 No.1	1982	白御影石
榎倉康二	壁	1971 (再制作 1995)	コンクリート
小清水漸	アララトの舟	1992	銅、鉄、水、白大理石
杉浦康益	陶による石の群	1985	陶
天野裕夫	パオバブ・ライオン	2002	陶、ブロンズ
林武史	立つ人ー月見台	2010	安山岩
鯉江良二	森ヲ歩く	1995	アルミニウム、基盤、電球等
美術館ホール東側テラス			
郭仁植	作品 86-ST	1986	米松、墨
庭園(北)			
田中薫	七つの積み木	1982	ステンレス・スティール、鉄、モーター、タイマー

1-2 企画展

塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかすにはいられない！ 人生絵日記

2022/4/23 [土] - 6/26 [日]

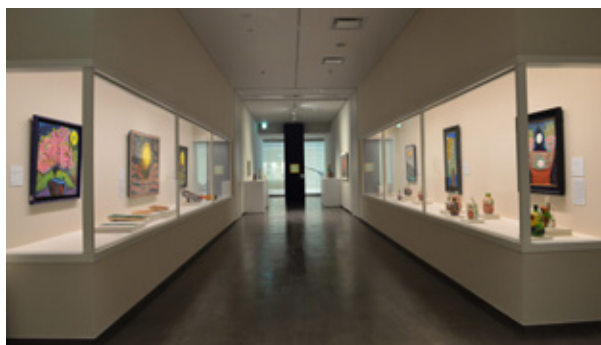
1913（大正2）年熊本県に生まれ、養父のサンフランシスコ行きを託されシスコと命名された、一般的には無名の画家を紹介した。

塔本シスコは、夫が急逝した後、子どもの頃から憧れていた絵を描くことに心をよせ、53歳の頃、本格的に油絵を描き始めた。その絵画世界は、胸中に沸きおこる喜びや夢があふれ出てくるもので、作品の主題は、草花や小動物たち、そして時間も場所も自由自在に乗り越え子どもの頃の思い出にまで広がっていく。生涯にわたって、少女のような純粋さを保ち、「私は死ぬまで絵を描きましよう」と絵筆を握り続け91歳の人生を閉じた。まさに彼女の人生絵日記といえる絵画や立体などで埋め尽くされた会場は、表現することの自由と輝きを放ち、大きな反響を呼んだ。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室2bc、展示室3
- ・出品点数：225点
- ・観覧料：一般800円(700円)、大学生600円(500円)、
高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金
- ・主催：岐阜県美術館、中日新聞社
- ・後援：NHK岐阜放送局

作品リストは16ページ



開館40周年記念 美術館の名品ってナンヤローネ 岐阜県美術館名品尽くし！

2022/7/30 [土] - 2023/3/19 [日]

美術館の名品ってなんだろう。名品はいつの時代も名品なのか。私たちにとってそれは名品なのだろうか。美術の魅力に出会う場として、岐阜県美術館が40年にわたって収集してきた「名品」を3部構成で紹介した。

第1部では、現在も当館の中核を担うとともにコレクションの特徴を決定づけている、美術館開館のための準備室時代に始まった最初期の収集に焦点を当てた。

第2部では、その後に収集された作品を中心に紹介した。コレクション形成が進む中で、収蔵をきっかけとする企画展や、収蔵品を軸とするテーマ展等の展覧会活動が新たな収集に結びつくという、美術館としての成長の過程を辿った。

第3部では、描かれた画題に着目し、「ルドン—幻想のイメージ」「物語る絵」「心の風景を描く」「美を愛でる」の4章に分けて紹介した。

概要

第1部

会期：2022年7月30日(土)－10月2日(日)

会場：岐阜県美術館 展示室1ab、庭園

第2部

会期：2022年10月4日(火)－12月25日(日)

会場：岐阜県美術館 展示室1ab、展示室2a

第3部

会期：2023年1月5日(木)－3月19日(日)

会場：岐阜県美術館 展示室1abcd

・出品点数：合計228点

第1部 55点、第2部 83点、第3部 90点

・観覧料：一般340円(280円)、大学生220円(160円)、
高校生以下無料

()内は20名以上の団体料金

・主催：岐阜県美術館

作品リストは23ページ



開館40周年記念 前田青邨展 究極の白、天上の碧ー近代日本画の到達点ー

2022/9/30 [金] - 11/13 [日]

中津川市出身の日本画家、前田青邨の回顧展。

16歳で梶田半古に師事し、岡倉天心や下村観山からも指導を受けながら研鑽を積み、朝鮮半島や中国への旅行、欧州留学を体験する中で日本画の将来性の確信を得、92歳まで意欲的な制作を続けた。

歴史人物画の名手として知られる青邨の代表作、重要文化財《洞窟の頼朝》を全期間通しで展覧。さらにルネサンス期の壁画に触発されたモニュメンタルな大作《羅馬使節》は約40年ぶりの郷土での公開となった。自画像の名品《白頭》、やまと絵に学んだ華麗な色彩が目まぐるしく《紅白梅》等の大作も集結し、楽しみながら描いた小品も厳選して加え、初期から晩年まで100点を超える作品群によって、稀有なる日本画の巨匠・前田青邨の全貌を紹介した。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室1cd、展示室2bc、展示室3
- ・出品点数：116点
- ・観覧料：一般1300円(1200円)、大学生1000円(900円)、高校生以下は無料
()内は20名以上の団体料金
- ・主催：岐阜県美術館、岐阜新聞社、岐阜放送、前田青邨展実行委員会
- ・後援：朝日新聞社、NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会
- ・協力：中津川市、日本通運、岐阜県社会保険協会
- ・協賛：岐阜県JAグループ、大垣共立銀行、パロー、岐阜信用金庫、損害保険ジャパン、トーカイ、岐阜プラスチック工業、岐阜商工信用組合、イビデン、太平洋工業、ヤマカグループ、美濃工業
- ・助成：(公財) 田口福寿会、十六フィナンシャルグループ、(公財) 花王 芸術・科学財団

作品リストは30ページ



アートまるケット 知るもしるもシル 2022年3月から作家たちは岐阜を旅した 出会い、集めたモノ・コト

2023/1/17 [火] - 3/19 [日]

「アートまるケット」は岐阜の言葉で「まみれる」を意味する「まるけ」と「マーケット」に「アート」を結び付けた造語。2015年度より3年間は展示室から庭園へ、次に美術館を飛び出し公園へ。2019年度以降はコロナ禍のためオンライン企画とした。第8回目となる今回は、「知る」をテーマに2組のアーティストを迎え、リアルへとリスタートするプロジェクトとした。

L PACKは県内各地へと赴き、歴史、文化、民俗に着目し、アート、デザインなど表現領域を横断する作品を制作。plaplastは空間、映像、当館所蔵品を組み合わせ、「うつわ」の多岐にわたる文化的概念を視覚化し、体感型の作品を制作した。ハイブリッドな「岐阜のかたち」は、鑑賞者の好奇心をくすぐり、「アートの力」を再考する機会となった。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室2、庭園
- ・出品点数：20点
- ・観覧料：無料
- ・主催：岐阜県美術館
- ・協力：岐阜県立多治見工業高等学校専攻科、多治見市陶磁器意匠研究所、名古屋造形大学
- ・後援：岐阜県教育委員会

作品リストは34ページ



アートまるケット おうちに居ながら美術館 拡張現実で収蔵作品鑑賞

展示室を飛び出して岐阜をアートでいっぱいになりたいという思いから始まったシリーズ企画「アートまるケット」。コロナ禍となった2020年度から、岐阜県美術館が所蔵する作品をアーティスト鈴木一太郎が3DCG化し、AR（拡張現実）技術によって、利用者のお手元に届ける企画が始まった。

スマートフォンやタブレット端末を使って、岐阜県美術館の所蔵作品を好きなところに飾り自宅に居ながら美術鑑賞を楽しむことができる。

塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない！ 人生絵日記

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ（高さ×幅×奥行cm）	所蔵
第1章「私も大きな絵を描きたかった」／パラダイスへの第一歩					
1	夕食後	1967年	板、油彩	139.9×91.4	個人蔵
2	秋の庭	1967年	キャンバス、油彩	130.5×162.3	世田谷美術館蔵
3	私が愛する生物たち	1969年	キャンバス、油彩	97.0×130.0	個人蔵 （滋賀県立美術館寄託）
4	和子	1969年	キャンバスボード、油彩	41.1×32.0	個人蔵
5	自画像	1969年	キャンバス、アクリル絵具	45.6×53.0	個人蔵
6	ハゲイトウとカマキリ	1966～1969年頃	キャンバス、油彩	45.6×37.9	個人蔵
7	秋の夜	1970年	キャンバス、油彩	97.2×130.3	個人蔵
第2章「どがんねえ、よかでしょうが」／熊本から大阪へ					
2-1「ちょっとみてくれんね」／団地の4畳半はシスコのアトリエ					
8	トンボとり	1970年	キャンバス、油彩	97.3×130.4	個人蔵
9	長尾駅	1970～1972年頃	キャンバスボード、油彩	37.8×45.3	個人蔵
10	山つつじ	1971年頃	厚紙、ガッシュ	97.2×60.7	個人蔵
11	長尾の田植風景	1971年	キャンバス、油彩	130.5×162.3	個人蔵
12	初夏	1974年	キャンバス、油彩	130.4×162.4	個人蔵
13	七五三のお祝い	1986年	キャンバス、油彩	130.6×161.9	個人蔵
14	造幣局の桜	1987年	キャンバス、油彩	130.4×162.2	個人蔵
15	淡路島 石を取るシスコ	1988年	キャンバス、油彩、貝	45.7×52.9	個人蔵
16	野外彫刻展を見に行く	1995年	キャンバス、油彩	162.0×130.5	個人蔵
17	ユスラウメチギリ イツモ3人デアソビマス	1995年	キャンバス、油彩	112.3×145.6	個人蔵
18	枚方総合体育館前のコスモス畑	1996年	段ボール、油彩	181.3×181.3	個人蔵
2-2「シスコの絵を見て下さいませ」／ちょっとおでかけ、山田池公園					
19	花しょうぶの精	1985年	キャンバス、油彩	97.0×130.3	個人蔵
20	山田池の春	1992年	キャンバス、油彩	130.3×162.2	個人蔵
21	シスコ牛年	1997年	キャンバス、油彩	130.5×97.1	個人蔵
22	山田池 春のスケッチ	1998年	キャンバス、油彩	145.6×112.4	個人蔵
23	山田池の春 シスコとハト	1999年	キャンバス、油彩	130.2×162.0	個人蔵
24	山田池のもみじがり	2000年	キャンバス、油彩	130.4×162.0	個人蔵
第3章「ムツゴロウが潮に乗って跳んでさるく」／ふるさとの思い出日記					
25	桜島	1970～1988年	キャンバス、油彩	130.8×162.4	個人蔵
26	母の日 あそ山	1983年	キャンバス、油彩	31.0×41.0	個人蔵
27	東洋のナポリ 朝日	1984～1985年頃	キャンバス、油彩	45.5×53.2	個人蔵
28	夢の中、自分が子供の頃の夏祭に私の手づくりの人形が箱の中からとび出して踊っている様をかきました。	1985年	キャンバス、油彩	73.0×91.2	世田谷美術館蔵
29	五色山の想い出	1988年	キャンバス、油彩	130.2×161.9	個人蔵
30	古里の家シスコ、ミドリ、シユクコ、ミア、ケンサク	1988年	キャンバス、油彩	130.1×161.9	個人蔵
31	シャク取り(不知火海にて)	1989年	段ボール、アクリル絵具	92.0×180.6	個人蔵
32	ネコ岳ミヤマキリシマ	1989年	段ボール、油彩	180.7×276.6	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
33	ふるさとの海	1992年	紙、油彩	180.0×270.0	熊本市現代美術館蔵
34	ふるさとの海 不知火海 潮まねきカニ	1993年	キャンバス、油彩	32.0×41.1	個人蔵
35	八景水谷 桜見	1997年	キャンバス、油彩	116.7×116.7	個人蔵
36	七夕の朝 きれいな髪になるように	2000年	キャンバス、油彩	31.8×41.0	個人蔵
37	仏舎利塔 赤ツバキ	2001年	キャンバス、油彩	65.4×52.9	個人蔵
38	オノダチの大運動会	2001年	段ボール、油彩、 アクリル絵具、フェルトペン	89.8×180.3	個人蔵
39	ウマイルガワ	2001年	キャンバス、油彩	53.2×65.2	個人蔵
40	古里の家	2003年	段ボール、油彩	73.1×91.5	個人蔵
41	桜島 噴火する	制作年不詳	キャンバスボード、油彩	45.2×53.1	個人蔵
42	井戸	制作年不詳	キャンバスボード、油彩	45.0×53.0	個人蔵

第4章「私にはこがん見えるったい」／あふれるシスコ・パラダイス

4-1「自分で植わったカボチャ」／シスコの庭

43	夏の庭	1988年	キャンバス、油彩	131.0×162.2	個人蔵
44	春の庭	1990年	段ボール、油彩	180.7×276.0	個人蔵
45	タチアオイ(朝日)	1991年	キャンバス、油彩	145.8×89.5	個人蔵
46	絵を描く私	1993年	キャンバス、油彩	130.5×162.3	個人蔵
47	白いサボテン	1993年	キャンバス、油彩	116.7×91.3	個人蔵
48	秋の庭	1993年	段ボール、油彩	179.8×270.1	個人蔵
49	私の窓からのながめ	1995年	段ボール、油彩	90.0×180.0	個人蔵
50	アロエの花は冬に咲きます	1995年	キャンバス、アクリル絵具	116.3×90.8	個人蔵
51	ショウブの花と私の人形	1997年	キャンバス、油彩	91.1×91.0	個人蔵
52	自分で植わったカボチャ	1998年	キャンバス、油彩、 アクリル絵具	130.4×162.2	個人蔵

4-2「アジサイの中であそびなさい」／シスコといきものたち

53	朝日に輝く花鳥	1973年	キャンバス、油彩	97.4×130.4	個人蔵
54	カニサボテン 玉子から育てた琉金	1979年	キャンバス、油彩	91.2×72.9	個人蔵
55	金魚とほてい草	1979年	キャンバス、油彩	97.2×130.2	個人蔵
56	あじさいの中で遊ぶベニスズメ	1981年	キャンバス、油彩	91.1×116.8	個人蔵
57	野しょうぶとつばめ	1984年	キャンバス、油彩、 アクリル絵具	53.2×65.4	個人蔵
58	朝日が登ると松虫はおやすみ	1985年	キャンバス、油彩	60.8×72.7	個人蔵
59	ひまわりの中で インコ	1987年	キャンバス、油彩	130.3×161.9	個人蔵
60	玉子から育てたルリコシボタンインコ手のりです	1989年	合板、アクリル絵具	37.9×57.2	個人蔵
61	金魚 大和錦の産卵	1992年	キャンバス、油彩	130.5×162.1	個人蔵
62	アジサイの中で遊びなさい	1997年	キャンバス、油彩	97.0×130.3	個人蔵
63	ワタリ鳥が来たよ	1997年	合板、アクリル絵具	72.7×91.3	個人蔵
64	アザミときじぐるま	1998年	キャンバス、油彩	72.8×60.7	個人蔵
65	ガクアジサイとカニ	1998年	キャンバス、油彩	72.7×60.8	個人蔵
66	朝日の中 ツキゲノチャボ	1999年	キャンバス、油彩	31.9×41.2	個人蔵

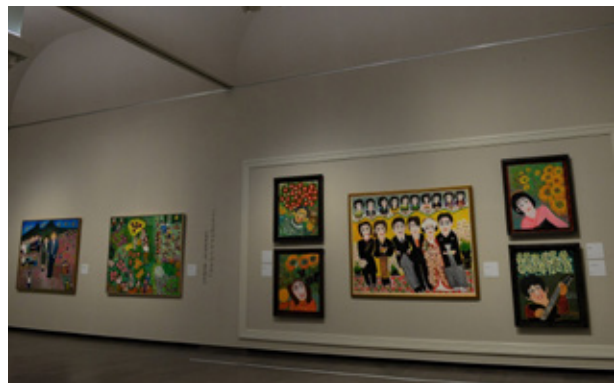
No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ（高さ×幅×奥行cm）	所蔵
67	ツキゲノチャボ オヤコデス	2000年	板、油彩	24.3×33.3	個人蔵
68	シスコの馬	2001年	段ボール、油彩	16.5×23.2	個人蔵
4-3「ミーイはよか男」／シスコとネコ					
69	三匹のネコ	1993年	キャンバス、油彩	60.7×72.9	個人蔵
70	アイサツスルネコ	1996年	板、油彩	41.6×35.2×3.7	個人蔵
71	あそびにくるネコ	1996年	板、油彩	22.6×55.0×4.5	個人蔵
72	三匹のネコ	1996年	板、油彩	26.5×41.7×4.0	個人蔵
73	ネコ	1996年	板、油彩	26.5×41.5×3.7	個人蔵
74	ヒルネテル ミーです	2001年	段ボール、アクリル絵具、 フェルトペン	41.1×87.4	個人蔵
75	ミイチャンヨ	2002年	キャンバス、油彩	53.1×65.0	個人蔵
76	ミーイはよか男 釜山アジア大会	2002年	キャンバス、油彩	65.3×53.2	個人蔵
77	アイサツスルネコ	2002年	段ボール、油彩	85.8×21.3	個人蔵
78	ネコチャン	2002年	段ボール、アクリル絵具	72.7×23.2	個人蔵
79	あるくネコ	2002年	段ボール、油彩	84.2×23.7	個人蔵
80	木に登るネコ	2002年	段ボール、アクリル絵具	82.0×29.5	個人蔵
81	ミーチャン月を見る	2002年	段ボール、油彩	74.0×29.5	個人蔵
82	ミーチャン トウガンヲ ミテ ビックリよ	2002年	段ボール、油彩、フェルトペン	91.2×73.3	個人蔵
第5章 「また新しかキャンバスを持って来てはいよ」／とまらないシスコ・ワールド					
5-1「バックには好きな花を描けん。なんの花がよかね」／シスコの家族					
83	ヒロコサンが買ってきたユリの花と庭の花、ニギヤカ庭	1997年	キャンバス、油彩	99.9×80.4	個人蔵
84	ミアのケツコンシキ	1997年	キャンバス、アクリル絵具、 コラージュ	130.6×162.2	個人蔵
85	ヒロコサンが買って来たユリとシスコのポピー	1998年	段ボール、アクリル絵具、油彩	90.6×73.3	個人蔵
86	ミート、賢一	1999年	パネル、アクリル絵具	80.3×65.2	個人蔵
87	ギターヲヒク研作君 24	1999年	パネル、アクリル絵具	80.2×65.3	個人蔵
88	晩白柚、ヒロコサン	1999年	パネル、アクリル絵具	80.3×65.1	個人蔵
89	福迫弥麻	1999年	パネル、アクリル絵具	80.3×65.2	個人蔵
90	ミアとヒデシさん 花見	1999年	パネル、油彩	100.1×72.5	個人蔵
91	88才のプレゼント	2001年	キャンバス、油彩	130.6×162.1	個人蔵
92	ヒロコさんをみているミイ	2002年	キャンバス、油彩	53.2×65.2	個人蔵
93	ヒロコさんのチューリップとシスコのライラック	2002年	段ボール、油彩	110.8×83.2	個人蔵
5-2「シスコのバアティデスヨ」／にぎやかなこと、ありがとう					
94	シスコの晴姿	1988年	キャンバス、油彩	130.3×97.1	個人蔵
95	自由の女神達	1994年	キャンバス、油彩	144.0×110.6	滋賀県立美術館蔵
96	NHK がやって来た	1995年	キャンバス、油彩	130.6×162.0	個人蔵
97	前田館長と記念写真	1995年	キャンバス、油彩	130.5×162.0	世田谷美術館蔵
98	もらったラン、もらったシクラメン	1996年	キャンバス、油彩	106.7×91.1	個人蔵
99	さようなら長野オリンピック	1998年	キャンバス、油彩	73.0×60.7	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
100	シシ座流星とサボテン1	1999年	パネル、油彩	80.2×65.1	個人蔵
101	ぶらんしゅありがとう	2000年	パネル、アクリル絵具	72.5×100.1	個人蔵
102	お日さんとシスコ 知恩院	2000年	パネル、油彩	72.8×99.9	個人蔵
103	エイサー水口	2001年	キャンバス、油彩	130.2×162.0	滋賀県立美術館蔵
104	グロリオサ(21世紀おめでとう)	2001年	パネル、油彩	100.1×72.7	個人蔵
105	丸山明宏	2001年	段ボール、油彩	91.0×58.4	個人蔵
106	丸山明宏	2002年	段ボール、アクリル絵具	89.9×71.6	個人蔵
第6章 「私は死ぬるまで絵を描きましようたい」／シスコの月					
107	シスコの女神	1997年	紙、油彩	152.0×6.2	個人蔵
108	ちったツバキを並べてかく	2000年	段ボール、油彩	49.3×124.8	個人蔵
109	山いも	2000年	段ボール、油彩、アクリル絵具	39.5×89.6	個人蔵
110	雲の鳥1	2001年	キャンバス、油彩、フェルトペン	53.4×65.1	個人蔵
111	オモチャカボチャ(白)	2001年	段ボール、油彩、アクリル絵具	53.3×45.8	個人蔵
112	オモチャカボチャ(赤)	2001年	段ボール、油彩、アクリル絵具	53.6×46.2	個人蔵
113	晩白柚八代、ぼんかんのべおか	2002年	段ボール、油彩、アクリル絵具	72.1×90.8	個人蔵
114	ジャーマンアイリス	2002年	合板、油彩	91.3×28.2	個人蔵
115	ジャーマンアイリス	2002年	合板、油彩	91.0×30.5	個人蔵
116	ジャーマンアイリス2	2002年	段ボール、油彩	88.7×29.5	個人蔵
117	椿君の花菖蒲	2002年	段ボール、油彩、アクリル絵具	29.1×100.4	個人蔵
118	ミドリサン、マンゴーありがとう	2002年	キャンバス、油彩	53.1×65.1	個人蔵
119	ザボン	2003年	キャンバス、油彩	24.4×34.6	個人蔵
120	帽子をかぶっているケンイチ	2003年	段ボール、油彩	91.0×73.0	個人蔵
121	帽子をかぶっているヒロコさん	2003年	段ボール、油彩	91.0×73.0	個人蔵
122	90才のプレゼント	2003年	キャンバス、油彩	130.2×162.0	個人蔵 (滋賀県立美術館寄託)
123	アロエの花	2004年	段ボール、アクリル絵具	72.6×138.0	個人蔵
124	名月 大正十年の十五夜	1994年	キャンバス、アクリル絵具	72.9×61.0	個人蔵
125	84才の名月(ミニフヨウ)	1997年	板、油彩	91.2×38.0	個人蔵
126	名月	1998年	パネル、油彩	80.1×65.3	個人蔵
127	名月 ヒロコさんたんじょうびおめでとう	2002年	段ボール、油彩、フェルトペン	75.0×78.1	個人蔵
128	シスコ89才の名月 私が作った人形の上に月昇る	2002年	段ボール、アクリル絵具	82.5×61.0	個人蔵
129	フレ川綱引き	2003年	段ボール、油彩	97.4×130.4	個人蔵
130	シスコの月	2004年	キャンバスボード、油彩	21.9×27.1	個人蔵
131	月光(雲に入る)	2004年	キャンバス、油彩	32.0×41.2	個人蔵
第7章「シスコは絵をかく事シカデキナイのデ困つた物です」／かかずにはいられない！					
7-1「もったいなか」／全てがたからもの					
132	松虫、ジュズダマ	1952年	紙、鉛筆、クレヨン	38.2×27.0	個人蔵
133	桜島	1970年	紙、クレヨン、フェルトペン	25.0×35.0	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
134	鹿児島風景	1970年	紙、クレヨン	25.0×35.0	個人蔵
135	鹿児島風景	1970年	紙、クレヨン	25.0×35.0	個人蔵
136	桜島	1970年	紙、クレヨン	25.0×35.0	個人蔵
137	桜島	1970年	紙、クレヨン	35.0×50.2	個人蔵
138	桜島(噴煙)	1970年	紙、クレヨン	35.0×25.4	個人蔵
139	デンデンムシシカタツムリ	1992年	紙、フェルトペン	18.3×18.2	個人蔵
140	おぢいサン、エンソクニ、ユクカラ、キレイナソ ウリヲネ	1992年	紙、色鉛筆、クレヨン	22.4×31.2	個人蔵
141	おぢいサン、オハヨウ、今日は シスコノ、ソウリ ヲカワユクツクツツテネ	1994年	紙、色鉛筆	23.0×30.8	個人蔵
142	草スキー	1994年	紙、色鉛筆	33.6×40.8	個人蔵
143	オハジキ	1994年	紙、色鉛筆、フェルトペン	33.6×40.8	個人蔵
144	子供達が夏休にナワヲーパイツクツタ	1994年	紙、鉛筆、色鉛筆、クレヨン	32.0×40.6	個人蔵
145	馬入れ川	1994年	紙、色鉛筆、クレヨン	33.6×40.8	個人蔵
146	夏休に、ツメに、赤くそめて、たのしみます	1994年	紙、色鉛筆、クレヨン	32.0×40.7	個人蔵
147	十五夜のツナ引き	1994年	紙、色鉛筆	32.0×40.7	個人蔵
148	朝早カラオテ玉デス	1994年	紙、色鉛筆、クレヨン	40.6×32.0	個人蔵
149	お月サマ、イクツ	1994年	紙、色鉛筆、クレヨン	22.0×30.3	個人蔵
150	学校の鳥舎	1994年	紙、色鉛筆、クレヨン、ペン	33.6×40.8	個人蔵
151	空もミナトもよう晴れて(ダンス)	1995年	紙、フェルトペン	20.9×29.7	個人蔵
152	ヤリノオオカン(槍の往還)	1995年	紙、フェルトペン	29.7×42.1	個人蔵
153	今はモミスリです	制作年不詳	紙、フェルトペン、墨	18.2×25.6	個人蔵
154	ハイビスカス	1990年	紙、ペン、クレヨン	27.0×38.2	個人蔵
155	カボチャ	1990年	紙、フェルトペン	27.0×38.2	個人蔵
156	すずめのえんどう、ガネノエンドウ	1993年	紙、色鉛筆	33.6×49.5	個人蔵
157	山田池	1993年	紙、色鉛筆	33.6×24.2	個人蔵
158	山田池スケッチ	1993年	紙、色鉛筆	24.2×33.6	個人蔵
159	新大池より	1993年	紙、鉛筆、色鉛筆	24.3×33.2	個人蔵
160	ススキ、トンボ	1994年	紙、フェルトペン、水彩	19.0×33.6	個人蔵
161	宮崎県 トリイミサキ(都井岬)	1995年	紙、フェルトペン、クレヨン	20.8×29.7	個人蔵
162	ノラネコ カラス シスコ エヲヤル	1997年	色紙、油彩、ペン	27.3×24.2	個人蔵
163	サガヘイヤの魚(佐賀平野)	2000年	紙、ペン、油彩	26.9×20.0	個人蔵
164	タンボノなまず	2001年	紙、フェルトペン、水彩	16.2×23.0	個人蔵
165	フリカエルカワウソ	2001年	紙、フェルトペン、水彩	16.4×23.0	個人蔵
166	カボチャ花	制作年不詳	紙、フェルトペン、油彩	22.7×15.5	個人蔵
167	ミーチャンよか男	1998年	封筒、フェルトペン	30.9×21.6	個人蔵
168	花を食べるミー	1998年	紙、フェルトペン	32.8×24.1	個人蔵
169	内のミーイ	1998年	紙、フェルトペン	25.6×36.3	個人蔵
170	スズメ ミーイチャン	2000年	紙、フェルトペン	29.6×21.0	個人蔵

No.	作品名	制作年	材質・技法	サイズ (高さ×幅×奥行cm)	所蔵
171	ミーチャン スズメミテイルヨ	2000年	封筒、フェルトペン	30.9×21.6	個人蔵
172	里ミコウ太郎 三田アキラ	1993年	紙、フェルトペン	23.4×24.0	個人蔵
173	貴乃花・若乃花	1998年	紙、鉛筆、フェルトペン	23.4×24.0	個人蔵
174	素朴って 愛媛県美術館	2000年	紙、ペン、墨	23.5×31.2	個人蔵
175	古里の家、ザボンの木	1995年	竹筒、油彩	53.1×Φ10.2	個人蔵
176	アジサイの花	1998年	竹筒、油彩	38.0×Φ9.8	個人蔵
177	梅の花1	1998年	竹筒、油彩	38.8×Φ11.5	個人蔵
178	松橋のおもいで カニ	1998年	竹筒、油彩	23.0×Φ7.8	個人蔵
179	庭の菊の花	1997年	木箱、油彩	蓋: 42.7×20.8×0.6 箱: 42.7×20.8×3.6	個人蔵
180	ツバキ 花	2000年	木箱、油彩、貝	蓋: 24.7×24.7×3.5 箱: 24.7×24.7×3.0	個人蔵
181	貝のカホ	2003年	木箱、油彩、貝	蓋: 27.5×9.2×0.5 箱: 28.4×20.6×4.7	個人蔵
182	馬子デスヨウカワイイヨウ	2002年	木製引き出し、油彩、貝	39.5×35.8×10.8	個人蔵
183	花	2004年	木製引き出し、油彩	38.9×25.1×10.9	個人蔵
184	太陽／鳥居	制作年不詳	木製しゃもじ、油彩、フェルトペン	21.5×7.2×0.6	個人蔵
185	月／寺	制作年不詳	木製しゃもじ、油彩、フェルトペン	21.0×6.4×0.5	個人蔵
186	鳥(黄)／鳥(青)	制作年不詳	木製しゃもじ、油彩、フェルトペン	18.2×5.6×0.6	個人蔵
187	ひまわり	1996年	ガラス瓶、油彩	28.0×12.0×12.0	個人蔵
188	丸山明宏とうさぎ	1998年	ガラス瓶、油彩	28.5×12.0×12.0	個人蔵
189	モチつきをするウサギとススキ	1998年	ガラス瓶、油彩	17.8×12.0×8.5	個人蔵
190	ミーチャン	1998年	ガラス瓶、油彩	27.0×Φ17.0	個人蔵
191	カボチャとネコ	1998年	ガラス瓶、油彩	27.0×Φ17.0	個人蔵
192	シスコとモチつきをするウサギ	1999年	ガラス瓶、油彩	30.0×Φ13.0	個人蔵
193	鳥と赤い実	1999年	ガラス瓶、油彩	23.8×15.5×11.0	個人蔵
194	丸山明宏ともちつきをするウサギ	1999年	ガラス瓶、油彩	26.5×Φ12.5	個人蔵
195	鳥	2001年	ガラス瓶、油彩	28.0×12.0×12.0	個人蔵
196	丸山明宏と猫	2001年	ガラス瓶、油彩	21.5×15.5×8.5	個人蔵
7-2「シスコはネンドヲツクリましたよう」／楽園の住人たち					
197	シスコの女神	1961年頃	石	17.5×15.5×15.0	個人蔵
198	鳥の精	1990年	陶、油彩	19.0×15.5×16.0	個人蔵
199	鳥の精	1990年	陶、油彩	21.5×14.0×12.0	個人蔵
200	鳥の精	1990年	陶、油彩	25.0×15.0×10.0	個人蔵
201	シスコの仏様	1992年	陶、油彩	16.5×12.5×13.5	個人蔵
202	鳥の女神	1992年	陶、油彩	17.5×11.3×11.8	個人蔵
203	鳥の女神	2000年	陶、油彩	23.5×15.0×17.0	個人蔵
204	鳥の女神	2000年	陶、油彩	19.0×13.0×15.5	個人蔵

No. 作品名	制作年	材質・技法	サイズ（高さ×幅×奥行cm）	所蔵
205 鳥の女神	2000年	陶、油彩	21.8×17.5×14.0	個人蔵
206 鳥の精	2002年	陶、アクリル絵具	21.0×15.0×14.0	個人蔵
207 シスコの仏様	1993年	テラコッタ	21.8×12.5×19.3	個人蔵
208 シスコの仏様	1993年	テラコッタ	19.8×12.5×11.8	個人蔵
209 シスコの仏様	1993年	テラコッタ	29.0×10.5×12.0	個人蔵
210 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	49.5×27.0×8.5	個人蔵
211 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	48.5×26.0×5.8	個人蔵
212 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金、油彩	37.5×25.7×5.2	個人蔵
213 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	47.5×29.5×7.3	個人蔵
214 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	44.5×24.7×8.2	個人蔵
215 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	40.0×21.8×5.8	個人蔵
216 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	48.5×30.5×5.5	個人蔵
217 シスコの日本人形	1994年頃	布、針金	38.0×19.0×6.6	個人蔵
7-3「シスコの晴姿」／手描きの着物				
218 つゆ草	1985年頃	綿、アクリル絵具	128.0×118.0	個人蔵
219 かのごゆり	1985年	綿、アクリル絵具	156.0×117.5	個人蔵
220 あさがお	1994年頃	化繊、アクリル絵具、クレヨン	165.5×128.0	個人蔵
221 あげはちょう	1994年頃	化繊、アクリル絵具	163.0×127.0	個人蔵
222 なでしこ（表）	1985年頃	綿、アクリル絵具	胴巻：20.0×130.5 太鼓：30.0×128.0	個人蔵
223 アザミ（裏）	1985年頃	綿、アクリル絵具	胴巻：20.0×130.5 太鼓：30.0×128.0	個人蔵
224 椿	1988年頃	絹、油彩	胴巻：18.0×108.0 太鼓：33.5×35.9	個人蔵
225 インコ	1988年頃	絹、油彩	胴巻：32.5×30.0 太鼓：31.5×29.8	個人蔵



開館40周年記念 美術館の名品ってナンヤローネ 岐阜県美術館名品尽くし！ 第1部

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法素材
1 日本の洋画・彫刻				
【展示室1a】				
山本 芳翠	1850-1906	福地源一郎の肖像	1876-77頃	油彩、画布
長原 孝太郎	1864-1930	残菊	1928	油彩、画布
北 蓮蔵	1876-1949	コンセルジュ	1929	油彩、画布
熊谷 守一	1880-1977	ヤキバノカエリ	1956	油彩、画布
		馬	1957	油彩、板
坂井 範一	1899-1981	船A	1965	油彩、画布
小寺 健吉	1887-1977	写生する少女	1933	油彩、画布
水谷 清	1902-1977	水瓜のある静物	1952	油彩、画布
坪内 節太郎	1905-1979	少女	1954	油彩、画布
早川 国彦	1897-1967	戸隠の放牧	1939	水彩、紙
山口 薫	1907-1968	画室の森	1949	油彩、画布
矢橋 六郎	1905-1988	美人コンクール	1959	油彩、画布
村井 正誠	1905-1999	地中海	1980	油彩、画布
柳原 義達	1910-2004	風の中の鴉	1981	ブロンズ
2 日本画				
【展示室1a】				
川合 玉堂	1873-1957	錦秋	1905	絹本着色
川崎 小虎	1886-1977	雨後の砂浜	1941	紙本着色
奥村 土牛	1889-1990	犢	1923	絹本墨画淡彩
伊東 深水	1898-1972	鏡	1947	絹本着色
長谷川 朝風	1901-1977	松王丸	1976	紙本着色
橋本 明治	1904-1991	ある神話	1971	紙本着色
加藤 栄三	1906-1972	空	1958	紙本着色
守屋 多々志	1912-2003	砂に還る(楼蘭に想う)	1970	紙本着色
加藤 東一	1916-1996	残照の浜	1970	紙本着色
長縄 士郎	1923-2021	萩	1975	紙本着色
3 外国絵画・彫刻				
【展示室1b】				
ギュスターヴ・モロー	1826-1898	ピエタ	1854	油彩、画布
		聖セバスティアヌスと天使	1876頃	油彩、板
オディロン・ルドン	1840-1916	石版画集『夢のなかで』より	1879	リトグラフ、紙
		石版画集『エドガー・ポーに』より	1882	リトグラフ、紙
		石版画集『起源』より	1883	リトグラフ、紙
		石版画集『ゴヤ頌』より	1885	リトグラフ、紙
		光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		蜘蛛	1887	リトグラフ、紙
		とらわれのペガサス	1889	リトグラフ、紙
		聖女とあざみ	1891	リトグラフ、紙
		ドルイド教の巫女	1892	リトグラフ、紙
		天 上の芸術	1894	リトグラフ、紙
		ベアトリーチェ	1897	リトグラフ、紙
		子どもの顔と花	1897	リトグラフ、紙

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法素材
オディロン・ルドン	1840-1916	カインとアベル 神秘的な対話 眼をとして オルフェウスの死 花 骸骨 気球	不詳 1896頃 1900以降 1905-10頃 1905-10頃 1880頃 1883	油彩、画布 油彩、画布 油彩、画布 油彩、画布 油彩、画布 木炭、紙 木炭、黒チョーク、紙
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	泉	1910頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927	森の中の焚火	1889-90頃	油彩、画布
モーリス・ドニ	1870-1943	なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
ジュール・パスキン	1885-1930	マリエッタの肖像	1928-29	油彩、画布
【屋外】				
アリスティド・マイヨール	1861-1944	地中海	1902-05	ブロンズ



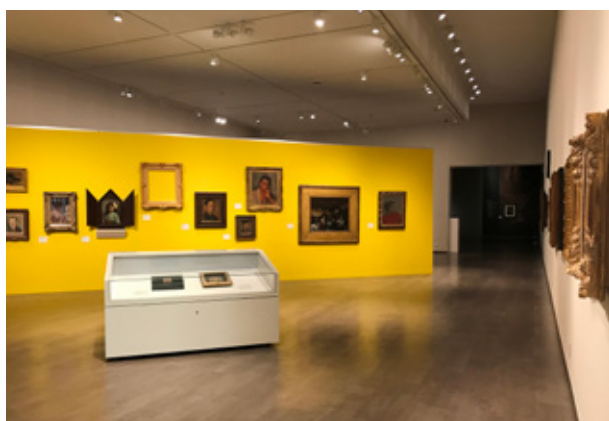
開館40周年記念 美術館の名品ってナンヤローネ 岐阜県美術館名品尽くし！ 第2部

*印は寄託作品、他は全て岐阜県美術館蔵。●印は10月18日(火)まで、○印は10月19日(水)から展示

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法素材	
第1章 作品を飾り守る額装					
【展示室 1a】					
オディロン・ルドン	1840-1916	永遠を前にした男 神秘的な対話 花の枠組みの中の左向きの横顔 翼のある横向きの胸像(スフィンクス) オフィーリア 騎馬兵の戦い	1870頃 1896頃 不詳 1898-1900頃 1901-02頃 1910頃	鉛筆、紙 油彩、画布 木炭、チョーク、黒鉛、紙 パステル、紙 油彩、紙 油彩、画布	
アリストイド・マイヨール	1861-1944	山羊飼いの娘	1890頃	油彩、画布	
ジョルジュ・デヴァリエール	1861-1950	アフロディテ	1899	油彩、板	
ポール・セリュジエ	1864-1927	消えゆく仏陀ーオディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布	
アンリ・ル・シダネル	1862-1939	月下の川沿いの家	1920	油彩、画布	
山本 芳翠	1850-1906	琉球令正婦人肖像	1887-92頃	油彩、画布	*
藤島 武二	1867-1943	浴室の女 公子像	1906-07 1920頃	油彩、画布 油彩、板	
牧野 伊三郎	1870-1895	鎧の袖	1892頃	油彩、画布	*
渡部 審也	1875-1950	自画像	1946	油彩、画布	
藤田 嗣治	1886-1968	厨房 赤い頬の少女 二匹の猫を抱く少女 座る少女	1950 1953 1955 1955	油彩、ハードボード 油彩、ハードボード 油彩、ハードボード 油彩、ハードボード	*○ *○ *● *●
宮地 志行	1891-1936	自画像	1922	油彩、画布	
岸田 劉生	1891-1929	自画像	1914	油彩、画布	
木村 荘八	1893-1958	パンの会	1928	油彩、画布	*
加賀 孝一郎	1899-1988	富士子	1948	油彩、板	
荻須 高德	1901-1986	サン＝ジェルマン・ロクセロフ、パリ	1949	油彩、画布	
村田 箕史雄(キシオ・ムラタ)	1910-1992	婦人像 女人像	1954 1965	油彩、画布 油彩、画布	
徳永富士子	1920-2007	自画像	1949	油彩、画布	
第2章 旅する作品					
【展示室 1a】					
ギュスターヴ・モロー	1826-1898	ピエタ 聖セバスティアヌスと天使	1856 1876頃	油彩、画布 油彩、板	
オディロン・ルドン	1840-1916	沼の花 悲嘆 手稿 オリヴィエ・サンセールの屏風 オルフェウスの死 アポロンの戦車	不詳 1893頃 不詳 1903 1905-10頃 1906-07頃	木炭、紙 木炭、紙 木炭、紙 テンペラ、油彩、グアッシュ、 画布 油彩、画布 油彩、画布	
ビエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	泉	1910頃	油彩、画布	
ポール・ゴーギャン	1848-1903	タヒチ風景 『ノア ノア』ナヴェナヴェ・フェヌア (かぐわしき大地)	1894頃 1893-94	水彩によるモノタイプ、紙 木版、手彩色、紙(自刷り)	
ポール・セリュジエ	1864-1927	急流のそばの幻影 または妖精たちのランデ ヴー	1897	油彩、画布	
エミール・ベルナール	1868-1941	ポンタヴェンの市場	1888	油彩、画布	
カーム・スーテン	1893-1943	吊るされた七面鳥	1925頃	油彩、画布	

作家名	生年・没年	作品名	制作年	技法素材	
第3章 制度化された美			重要文化財や登録美術品に指定された作品や、官展受賞作品を中心に展示		
【展示室1b】					
1.指定された文化財					
熊谷 守一	1880-1977	蠟燭(ローソク)	1909	油彩、画布	
山本芳翠	1850-1906	裸婦 【重要文化財】 浦島	1880頃 1893-95頃	油彩、画布 油彩、画布	
舘光	1907-1946	花園 【登録美術品】	1940	油彩、画布	*
2.美術館 作品収集への歩み					
オディロン・ルドン	1840-1916	骸骨 気球	1880頃 1883	木炭、紙 木炭、黒チョーク、紙	
第4章 展覧会と共に成長するコレクション			開館以降企画展に関連してその前後に収集された作品を中心に展示		
【展示室2a】					
熊谷 守一	1880-1977	桑畑 海	1939 1958	油彩、板 油彩、紙 (キャンバスボードに貼付)	
川崎 小虎	1886-1977	海芋	1942	紙本着色	
藤田 嗣治	1886-1968	十字架の見える風景 猫	1920頃 1949	油彩、画布 油彩、画布	
マルク・シャガール	1887-1985	『サーカス』より	1967	リトグラフ、紙	
中川 とも	1890-1982	花菖蒲	1967	水彩、ポスターカラー、紙	
坂井 範一	1899-1981	水	1960	油彩、画布	
岸田 劉生	1891-1929	滞船 薔薇図	1909頃 1929	油彩、板 油彩、板	
武田 由平	1892-1989	雛芥子	1957	木版、紙	
ジャン・デュビュッフェ	1901-1985	フェット・メモラブルII	1978	シルクスクリーン、紙	
坪内 節太郎	1905-1979	踊る	1949	油彩、画布	
エミリオ・グレコ	1913-1995	マリア・バルダッサレ	1967	ブロンズ	
加藤 東一	1916-1996	ある行進	1974	紙本着色	
田淵 安一	1921-2009	雷雨	1961	油彩、画布	
三尾 公三	1923-2000	Encore	1977	アクリル、板	
白髪 一雄	1924-2008	地魔星雲裏金剛	1960	油彩、画布	
坂倉 新平	1934-2004	光の中に跳びはねて	2001	油彩、画布	
荒川 修作	1936-2010	《養老天命反転地 極限で似るものの家》のた めのコンピューター・グラフィックス 《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃 1992-94頃	コンピューター・グラフィック ス、紙 ペン、鉛筆、色鉛筆、コン ピューター・グラフィックス、 紙、トレーシングペーパー	
李 禹煥	1936-	線より	1977	岩絵具、膠、画布	
小清水 漸	1944-	作業台―水の設計―	1980	桂、水	
土屋 禮一	1946-	道	1979	紙本着色	
日比野 克彦	1958-	WEDDING CAKE	1980	アクリル絵具、色鉛筆、 タコ糸、紙、ダンボール	

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法素材
第5章 コレクションとわたし—Such Such Such				
【展示室2a】				
アントニ・タピエス	1923-2012	黒と四つの茶	1959	ミクストメディア、油彩、画布
田中 敦子	1932-2005	'83B	1983	合成樹脂エナメル塗料、画布
額縁 敏郎	1940-2002	気・ストローム	1983	油彩、コラージュ(紙)、蛍光塗料



開館40周年記念 美術館の名品ってナンヤローネ 岐阜県美術館名品尽くし！ 第3部

*印は寄託作品、他は全て岐阜県美術館蔵。●印は2月5日(日)まで、○印は2月7日(火)から展示

作家名	生年・没年	作品名	制作年	技法・素材
第1章 ルドーン幻想のイメージ				
【展示室 1a】				
◇黒の怪物たち				
オディロン・ルドン	1840-1916	蜘蛛	1887	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 VIII. 幻視	1879	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 VI. 地の精	1879	リトグラフ、紙
		『エドガー・ポーに』 I. 眼は奇妙な気球のように無限に向かう	1882	リトグラフ、紙
		『起源』 II. おそらく花の中に最初の視覚が試みられた	1883	リトグラフ、紙
		『起源』 III. 不恰好なポリープは薄笑いを浮かべた醜い一つ目巨人のように岸边を漂っていた	1883	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第一集 IX. いたるところで瞳が燃える	1888	リトグラフ、紙
		絶対の探究…哲学者	1880	木炭、紙
		曲がりくねった樹		木炭、紙
		沼の花		木炭、紙
		顕現		木炭、紙
		悲嘆	1893 頃	木炭、紙
		『夢のなかで』 II. 発芽	1879	リトグラフ、紙
		『夢のなかで』 I. 孵化	1879	リトグラフ、紙
		『起源』 表紙＝扉絵	1883	リトグラフ、紙
		『陪審員』 V. 目に見えぬ世界は存在しないのか…	1887	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第一集 V. すると魚の体に人間の頭をつけた奇妙な生物が現れる	1888	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第一集 VIII. そしてあらゆる種類のぞつとするような動物がおどりでてくる	1888	リトグラフ、紙
		『ギュスターヴ・フロベールに』(『聖アントワヌの誘惑』第二集) IV. 聖アントワヌ: どこかに始原的な形象があるはずだ。その身体は映像にすぎないのだ	1889	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第三集 XIII. …頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第三集 XXII. …革袋のように丸い、海の獣たち	1896	リトグラフ、紙
		『聖アントワヌの誘惑』 第三集 XXIII. ささまざまな住民が太陽の国々に棲んでいる	1896	リトグラフ、紙
		『ゴヤ頌』 II. 沼の花、悲しげな人間の顔	1885	リトグラフ、紙
		『ゴヤ頌』 IV. 胚芽のごとき存在もあった	1885	リトグラフ、紙
		『陪審員』 II. 入り組んだ枝のなかに蒼ざめた顔が現れた…	1887	リトグラフ、紙
		『悪の華』 VIII. 章末の挿絵	1890	転写銅版、紙
◇夢幻の花				
オディロン・ルドン	1840-1916	眼をとして	1890	リトグラフ、紙
		シュラムの女	1897	リトグラフ、紙
		ベアトリーチェ	1897	リトグラフ、紙
		子供の顔と花	1897	リトグラフ、紙
		神秘的な対話	1896 頃	油彩、画布
		眼をとして	1900 以降	油彩、画布
		オリヴィエ・サンセール屏風	1903	油彩、テンペラ、画布
		黒い花瓶のアネモネ	1905 頃	パステル、紙
		ファエトンの墜落	1905-06 頃	油彩、板
		花の中の少女の横顔	1900-10 頃	油彩、板
		オルフェウスの死	1905-10 頃	油彩、画布
		花	1905-10 頃	油彩、画布
		第2章 物語る絵		
【展示室 1b】				
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1841-1919	泉	1910 頃	油彩、画布
山本 芳翠	1850-1906	『蜻蛉集』 (シュディット・ゴータエ著、山本芳翠画)	1884	書籍(リトグラフ、紙)
		浦島	1893-95 頃	油彩、画布
長原 孝太郎	1864-1930	明星	1930	油彩、画布
藤田 嗣治	1886-1968	夢	1925	油彩、画布
坂井 範一	1899-1981	古い物語	1972 頃	油彩、画布
長谷川 潔	1891-1980	『竹取物語』	1933	書籍(銅版、紙)

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法素材	
木村 荘八	1893-1958	パンの会	1928	油彩、画布	*
水谷 清	1902-1977	鬼子母神縁起	1973	油彩、画布	
坪内 節太郎	1905-1979	葵上	1946	油彩、画布	
村田 實史雄(キシオ・ムラタ)	1910-1992	星の物語(別題 メキシコの神話)	1983	油彩、画布	

第3章 心の風景を描く—岐阜ゆかりの版画家から

【展示室1c】

武藤 完一	1892-1982	蘇州風家	1940	エッチング、紙	
武田 由平	1892-1989	杜	1959	木版、紙	
安藤 勲	1906-1989	歴史	1973	エッチング アクアティント紙	
武藤 六郎	1907-1995	(作品名不詳) 東京 新橋演舞場	1930代 1932	木版、紙 木版、紙	
守 洞春	1909-1985	佐保姫ゆらぐ	1967	木版、紙	
岩島 周一	1918-2010	昏るる古物屋	1994	木版、紙	
稻田 年行	1925-2014	海への幻想	1985	リトグラフ、紙	
船坂 芳助	1939-	Lemon Black and White から My Space and My Dimension D-558	2005 2014	シルクスクリーン、 木版、紙 墨、紙、画布	
堀江 良一	1943-	弧のある風景 92-1	1992	木版、紙	
牧野 光陽	1947-2017	残照 垂井宿の雨 黄昏・赤い橋	1998 2008 2010	木版、紙 木版、紙 木版、紙	
廣江 嘉郎	1947-	大地に宿るざわめきの声が聞こえる	2005	木版、紙	
林 孝彦	1961-	徳山村考—数える月と日 徳山村考—夜を放つものたち 徳山村考—水と時の記憶 徳山村考—土と風の記憶 徳山村考—約束の地	1996 1996 1996 1996 1996	エッチング他、紙 エッチング他、紙 エッチング他、紙 エッチング他、紙 エッチング他、紙	
近藤 憲昭	1962-	時間の系譜 # 4	2008	リトグラフ、紙	

第4章 美を愛でる—日本の風景

【展示室1d】

川合 玉堂	1873-1957	春景秋景山水図 老松蒼鷹 深林宿雪	1918 1928 1936	絹本着色、裏箔 絹本墨画淡彩、裏箔 絹本着色	
熊谷 守一	1880-1977	湖畔 富岳秋景 馬 富士山	1946-47頃 1946-47頃 1958 1958	紙本墨画淡彩 紙本墨画淡彩 紙本墨画淡彩 紙本墨画淡彩	
川崎 小虎	1886-1977	たご壺に猫柳 四季草花画卷・冬 四季草花画卷・春	1956 1945-50 1945-50	紙本着色 紙本着色 紙本着色	● ○
岸田 劉生	1891-1929	歳寒三友	1926	紙本墨画淡彩	
小島 一谿	1899-1974	寸又峽権現岳	1967	紙本着色	
守屋 多々志	1912-2003	泊	1966	紙本着色	
土屋 禮一	1946-	椿樹	2005	紙本着色	*

開館40周年記念 前田青邨展 究極の白、天上の碧―近代日本画の到達点―

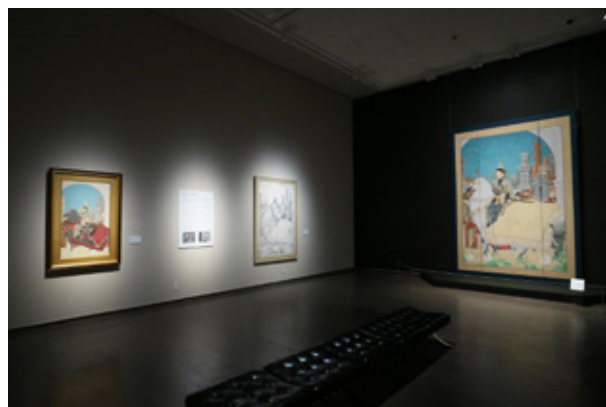
前期：9月30日(金)-10月23日(日) 後期：10月25日(火)-11月13日(日)

No.	作品名	制作年	材質技法	所蔵	展示期間
序章 歴史を借りて、自分の夢を描く					
1-3	大久米命	明治40(1907)	絹本着色	岐阜県美術館	
1-4	囚はれたる重衡	明治41(1908)	絹本着色	岐阜県美術館	
3-1	羅馬使節	昭和2(1927)	絹本着色	早稲田大学 會津八一記念博物館	
3-2	羅馬使節(下図)	昭和2(1927) 頃	紙本墨画淡彩	早稲田大学 會津八一記念博物館	
3-3	羅馬使節	昭和5(1930) 頃	絹本着色	公益財団法人 二階堂美術館	
3-5	洞窟の頼朝 [重要文化財]	昭和4(1929)	絹本着色	大倉集古館	
3-6	洞窟の頼朝	昭和32(1957)	紙本着色	個人	
3-8	嬰粟	昭和5(1930)	紙本金地着色	光ミュージアム	
3-10	鶉	昭和15(1940)	紙本墨画淡彩	株式会社十六銀行	
4-6	祝日	昭和17(1942)	紙本着色	岐阜県美術館	
4-24	お水取	昭和34(1959)	紙本着色	公益財団法人 平木浮世絵財団	
4-25	お水取スケッチ	昭和34(1959)	紙本着色	岐阜県美術館	
4-26	御水取	昭和34(1959)	紙本着色	個人	
5-6	ラ・プランセス	昭和32(1957)	紙本着色	岐阜県美術館	
5-7	出を待つ	昭和30(1955)	紙本着色	岐阜県美術館	
5-10	紅白梅	昭和39(1964)	紙本着色	公益財団法人 ひろしま美術館	
5-11	鯉	昭和38(1963)	紙本着色	公益財団法人 平木浮世絵財団	
第1章 古きものへの愛					
1-1	袈裟御前	明治35(1902) 頃	絹本着色	中津高等学校同窓会	
1-2	小碓尊	明治36(1903) 頃	絹本着色	岐阜県美術館	
1-5	春山霞男	明治末期	絹本着色	伊豆市	前期
1-6	燈籠大臣	明治末期	絹本着色	伊豆市	後期
1-7	市場	明治43(1910) 頃	絹本着色	伊豆市	前期
1-8	菅公	明治43(1910)	絹本着色	個人	
1-9	鶏合	明治43(1910)	紙本着色	伊豆市	前期
1-10	騎馬武者	明治末期	絹本着色	伊豆市	後期
1-11	宇治川の先陣争い	明治末期	紙本着色	福田美術館	
1-12	三条大橋	明治後期	絹本着色	浜松市美術館	
1-13	大堰川	制作年不詳	紙本着色	個人	
1-14	維盛高野の巻	大正7(1918)	紙本着色	東京国立博物館	後期
1-15	雷光	制作年不詳	紙本墨画淡彩	個人	
1-16	白馬の節会	制作年不詳	絹本着色	個人	
特別出品1	小鳥写生	制作年不詳	紙本墨画淡彩	個人	
特別出品2	烏	制作年不詳	陶器	個人	

No.	作品名	制作年	材質技法	所蔵	展示期間
第2章 異文化体験と惑い					
2-1	宿場	大正前期	紙本着色	名古屋市美術館	
2-2	江島詣	大正6(1917)	絹本着色	愛知県美術館	
2-3	張果老	大正4(1915) 頃	絹本着色	岐阜県美術館	
2-4	雨の蘇州	大正8(1919) 頃	紙本着色	愛知県美術館	
2-5	漢江渡舟	大正8(1919) 頃	紙本着色	古川美術館	
2-6	渡舟	大正期	絹本着色	豊田市美術館	
2-7	修羅道	昭和初期	絹本着色	名古屋市美術館	
2-8	竹取物語	昭和初期	絹本着色	古川美術館	
2-9	遊魚	大正10(1921)	絹本着色	公益財団法人 三溪園保勝会	
2-10	遊魚	大正10(1921) 頃	紙本金彩	岐阜県美術館	
2-11	地獄変相	大正10(1921)	紙本墨画金彩	東京藝術大学	後期
2-12	神代之巻	大正13(1924)	紙本墨画	東京国立近代美術館	前期
2-13	日子穂々手見命	昭和初期	紙本墨画淡彩	岐阜県美術館	前期
2-14	花売り	大正13(1924)	紙本着色	東京国立博物館	前期
2-15	漢江の朝霧・漢水の夕	大正15(1926)	絹本墨画		
2-16	祝ひ日	昭和5(1930) 頃	絹本着色	古川美術館	
第3章 いにしえびとへの愛					
3-4	那須七湯	昭和3(1928)	紙本墨画淡彩	東京国立近代美術館	
3-7	洞窟の頼朝	昭和42(1967)	紙本着色	岐阜プラスチック工業株式会社	
3-9	鶺鴒	昭和8(1933)	紙本墨画淡彩	個人	
3-11	唐獅子	昭和10(1935)	紙本着色	宮内庁三の丸尚蔵館	後期
3-12	唐獅子	昭和11(1936)	紙本着色	静嘉堂文庫美術館	前期
3-13	蘭陵王	昭和11(1936)	紙本着色	静嘉堂文庫美術館	前期
3-14	蘭陵王	昭和11(1936)	紙本着色	豊田市美術館	後期
3-15	観画	昭和11(1936)	絹本着色	京都市美術館	前期
3-16	白河楽翁公	昭和11(1936)	絹本着色	中津川市	前期
第4章 究極の「白」を求めて					
4-1	大同石仏(下図)	昭和13(1938)	紙本墨画淡彩	東京藝術大学	前期
4-2	朝鮮五題 水汲	昭和14(1939)	紙本墨画淡彩	愛知県美術館(木村定三コレクション)	前期
4-3	朝鮮五題 魚売	昭和14(1939)	紙本墨画淡彩	愛知県美術館(木村定三コレクション)	前期
4-4	阿修羅	昭和15(1940)	紙本着色	東京藝術大学	
4-5	阿修羅	昭和15(1940) 頃	紙本着色	公益財団法人 二階堂美術館	
4-7	関ヶ原の家康	昭和17(1942)	紙本墨画淡彩	名都美術館	
4-8	大楠公・小楠公	昭和17～20(1942～45)	絹本着色	豊田市美術館	後期
4-9	おぼこ	昭和19(1944)	紙本墨画	東京国立近代美術館	

No.	作品名	制作年	材質技法	所蔵	展示期間
4-10	沙魚	制作年不詳	紙本着色	株式会社十六銀行	
4-11	稚児文殊	昭和21(1946) 頃	紙本着色	愛知県美術館	後期
4-12	稚児文殊	昭和21(1946)	紙本墨画淡彩	愛知県美術館(木村定三コレクション)	後期
4-13	獅子図	制作年不詳	紙本墨画淡彩	愛知県美術館(木村定三コレクション)	
4-14	猫	昭和24(1949)	紙本着色	滋賀県立美術館	前期
4-15	郷里の先覚	昭和22(1947)	紙本墨画淡彩	東京国立近代美術館	
4-16	二日月	昭和21(1946)	紙本墨画	豊田市美術館	
4-17	三日月	昭和21(1946)	紙本墨画	中津川市	
4-18	風神雷神	昭和24(1949)	紙本墨画淡彩	セキ美術館	
4-19	浴女群像	昭和31(1956)	紙本着色	滋賀県立美術館	前期
4-20	浴女群像(下図)	昭和31(1956)	紙本着色	東京藝術大学	後期
4-21	午前四時	昭和37(1962)	紙本墨画淡彩	朝日新聞東京本社	
4-22	湯治場	昭和27(1952)	紙本着色		
4-23	鯉三題	昭和25(1950)	紙本墨画	愛媛県美術館	
4-27	白頭	昭和36(1961)	紙本淡彩	東京藝術大学	
第5章 美しき彩りへの偏愛					
5-1	応永の武者	昭和22(1947)	絹本着色	岐阜県美術館	
5-2	Y氏像	昭和26(1951)	紙本着色	東京国立近代美術館	
5-3	脇村義太郎氏像	昭和40(1965)	紙本墨画淡彩	個人	
5-4	土牛君の像	昭和48(1973)	紙本墨画淡彩	東京国立近代美術館	
5-5	転生	昭和41(1966)	紙本墨画淡彩	東京藝術大学	
5-8	中国三部作 南の街(広州)	昭和35(1960)	紙本着色	個人	
5-9	石棺	昭和37(1962)	紙本着色	東京国立近代美術館	
5-12	鯉	制作年不詳	紙本着色	個人	
5-13	激流	昭和19(1944) 頃	紙本着色	個人(名古屋市美術館寄託)	後期
5-14	蒙古来	制作年不詳	絹本着色	個人	
5-15	千羽鶴	昭和34(1959)	紙本着色	岐阜県美術館	
5-16	富士	制作年不詳	紙本着色	個人	
第6章 可愛い青邨					
6-1	かちかち山	制作年不詳	紙本墨画	個人	
6-2	動物の舞踏会	昭和33(1958)	紙本墨画金泥	公益財団法人 二階堂美術館	
6-3	桃花	昭和36(1961)	紙本着色		
6-4	薔薇	制作年不詳	紙本着色	個人	
6-5	鴨	昭和30年代	紙本着色	古川美術館	
6-6	ペンギン	昭和41(1966)	紙本着色		
6-7	柳桜	制作年不詳	紙本着色	個人	
6-8	梅日和	制作年不詳	紙本着色	個人	

No.	作品名	制作年	材質技法	所蔵	展示期間
6-9	紅白梅	制作年不詳	紙本着色	個人	
6-10	柄長	制作年不詳	紙本着色	個人	
6-11	静物	昭和36(1961)	紙本着色	個人	
6-12	静物	昭和36(1961) 頃	紙本着色	個人	
6-13	紅葉狩	制作年不詳	紙本着色	個人	
6-14	風神雷神	昭和33(1958)	紙本墨画淡彩	岐阜県美術館	
第7章 画禅入三昧—ただ絵を愛す					
7-1	異装行列の信長	昭和44(1969)	紙本着色	山種美術館	後期
7-2	熊野詣	昭和38(1963)	紙本着色	個人	
7-3	熊野詣	昭和39(1964) 頃	紙本着色	個人	10月4日～
7-4	知盛幻生	昭和46(1971)	紙本着色	岐阜プラスチック工業株式会社	
7-5	蓮台寺の松陰	昭和42(1967)	紙本着色	山種美術館	前期
7-6	蓮台寺の松陰(下図)	昭和42(1967) 頃	紙本着色	個人	前期
7-7	腑分	昭和45(1970)	紙本着色	山種美術館	前期
7-8	富貴花	昭和49(1974)	紙本墨画淡彩	名古屋市美術館	
7-9	水辺春暖	昭和48(1973)	紙本着色	岐阜プラスチック工業株式会社	



アートまるケット 知るもしるもシル 2022年3月から作家たちは岐阜を旅した 出会い、集めたモノ・コト

作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵
L PACK.	The story was handed down from father to son. 一親から子へと伝えられた話 「パイエーハリ」 「さあ行こう」 「宇宙の のりもの」 「岐阜の のりもの」 「スペースデブリと宇宙作戦群」 「鮎と長良川作戦」 「アダムスキー型 UFO」 「3つの鉱物」 「笠と藤村」 「3つのこうぶつ」 「国際宇宙ステーション」 「ドレイクの法則」 「暗黒の星」 「村」 「雪入道」 「黒唐揚げ」 「太陽系」 「メッセージ」 「ワン・フォー」 「丸石」 「伝わらない話」 「K」 「のぞくさま」 「探査の集積」 「光の速さで」	2023	インスタレーション	個人蔵
L PACK.	「みんなの日記からL PACK. が作品をつくってみる」	2023	インスタレーション (公開制作)	個人蔵
plaplaX	うつわ・イロイロ	2023	映像	個人蔵
関連展示				
荒川豊蔵	志野茶碗 銘 早春	1978-79 頃	志野、陶器	岐阜県美術館
小山富士夫	斑唐津水指	1964 頃	斑唐津、陶器	岐阜県美術館
塚本快示	青白磁大皿	1979	青白磁、磁器	岐阜県美術館
plaplaX	うつわ・カラダ	2023	インタラクティブアート	個人蔵
関連展示				
東 正之	青釉壺	2014	青釉、陶器	岐阜県美術館
酒井博司	藍志野壺	2012	藍志野、陶器	岐阜県美術館
鈴木 徹	緑釉花器	2012	緑釉、陶器	岐阜県美術館
plaplaX	うつわ・ケシキ	2023	インクジェットプリント (38点組)	個人蔵
関連資料展示				
	「計測・素地土テスト」 「素地土の測定」			多治見工業 高等学校専攻科
plaplaX	うつわ・カケラ	2023	インタラクティブアート	個人蔵
関連展示				
鈴木五郎	呼継大壺 銘 無尽蔵	2007	金継、陶器	岐阜県美術館
plaplaX	UTSUWA as the cave	2023	インスタレーション	個人蔵
関連展示				
安土草多	グラス	2023	ガラス	個人蔵

作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵
伊村俊見	碗	2010 頃	陶器	個人蔵
オークヴィレッジ株式会社	「碗」		木	個人蔵
plaplax	うつわ・リンカク	2023	インタラクティブアート	個人蔵
関連展示				
塚本快示	青白磁輪花碗	1981	青白磁、磁器	岐阜県美術館



1-3 共催展など

IAMAS ARTIST FILE #08 福島諭 「記譜、そして、呼吸する時間」

2022/7/5 [火] - 9/11 [日]

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] と岐阜県美術館との連携事業「IAMAS ARTIST FILE」は2013年に始まり、本展で第8回目。今回は、IAMAS 博士後期課程に在籍する福島諭の個展。コンピュータと木管楽器による室内楽作品の空間展示を中心に、福島諭が以前より進めてきた、他者との交換形式によって創作した音楽や平面、映像作品などを展示した。

また、福島と同様に作曲から造形へ表現を拡張した佐藤慶次郎(1927-2009) による電子オブジェも同会場で紹介した。

概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室2
- ・入場料: 一般340円(280円)、大学生220円(160円)、高校生以下は無料
- ・主催: 岐阜県美術館、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]
- ・協力: IAMAS タイムベースドメディア・プロジェクト



令和4年度岐阜県青少年美術展

2022/7/9 [土] - 7/18 [月・祝]

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、一般に公開する展覧会。青年部と少年部があり、青年部は絵画、デザイン、立体、書道、写真の5部門、少年部は絵画・デザイン、書写の2部門を公募した。青年部は部門ごと、少年部は、各部門の小学生以上の学年ごとに、最優秀賞、優秀賞を選定し、表彰式を行った。

また、部門や学年の枠にとらわれず、日比野克彦美術館長の感性を刺激した作品を「ナンヤローネ賞」として選定した。

引続き、コロナ禍でも鑑賞できるように3Dバーチャル美術展を公開した。

概要

- ・会場: 岐阜県美術館 展示室3,4
- ・入場料: 無料
- ・主催: 岐阜県
- ・後援: 岐阜県教育委員会
岐阜県高等学校文化連盟
- ・応募数: 青年部 1,105点
少年部 34,681点
- ・展示数: 青年部 273点
少年部 783点

岐阜県美術館長選定賞「ナンヤローネ賞」: 50点



第4回ぎふ美術展

2022/8/13 [土] - 8/28 [日]

今回で4回目の開催となる公募展。各分野の第一人者が審査員となり、選んだ作品を展示した。引続き、コロナ禍でも鑑賞できるように3Dバーチャル美術展を公開した。

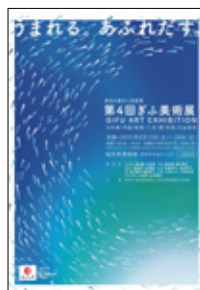
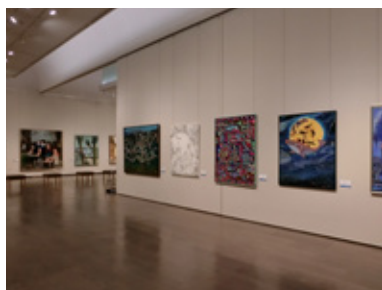
総応募点数は881点、入選・入賞数は367点。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室3,4、多目的ホール
- ・入場料：無料
- ・主催：岐阜県・岐阜県美術館、
公益財団法人岐阜県教育文化財団

審査員

- ・日本画：齋正機(日本画家、両口屋是清美術顧問)
千住博(日本画家、日本芸術院会員)
- ・洋画：奥谷博(洋画家、日本芸術院会員)
榎木野衣(美術批評家、多摩美術大学教授)
- ・彫刻：建畠哲(多摩美術大学学長、埼玉県立近代美術館館長)
吉野毅(彫刻家、日本芸術院会員)
- ・工芸：田嶋悦子(陶芸家、大阪芸術大学教授)
宮田亮平(金工作家、文化庁 前長官)
- ・書：高木聖雨(書家、日本芸術院会員、
大東文化大学名誉教授)
鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員、
東京国立博物館客員研究員)
- ・写真：土田ヒロミ(写真家、金津創作の森美術館館長)
光田由里(美術評論家、多摩美術大学教授)
- ・自由表現：立島恵(佐藤美術館学芸部長)
山本豊津(東京画廊代表)



第11回円空大賞展 共鳴—継承と創造—

2023/1/20 [金] - 3/5 [日]

第11回円空大賞展では、5人の作家が選ばれた。様々な素材に注目し、各地の職人と協力しながらテキスタイルデザインの可能性を追求し続ける須藤玲子(円空大賞)。風倒木や立ち枯れ木などを素材とし、作品に新たな命を吹き込むデイヴィッド・ナッシュ。素材ととことん向き合い、特性を最大限生かしながら、造形と焼成のプロセスの中に自身の魂を吹き込む中島晴美。人間の深部に触れ、「人間とはどんな存在か」という自己の内面と対峙して作品を手掛ける舟越桂。「陶」を用いて現代社会への強い危機感を表出する三島喜美代(以上、円空賞)。作品数56点、羽島市の円空仏6体も展示。

概要

- ・会場：岐阜県美術館 展示室3、美術館ホール
- ・入場料：一般800円(700円)、大学生600円(500円)、
高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

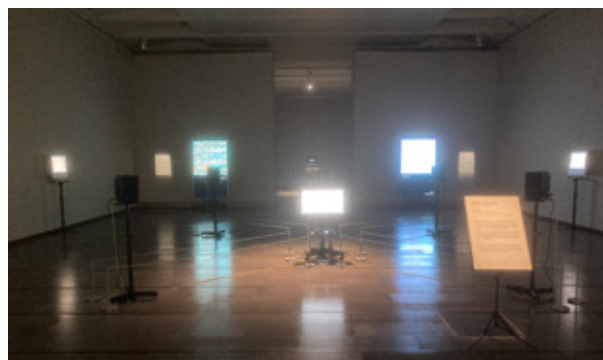
- ・主催：岐阜県、岐阜県美術館
- ・後援：円空連合、朝日新聞社、NHK岐阜放送局、
岐阜新聞社 岐阜放送、(株)共同通信社、
シーシーエヌ株式会社、CBCテレビ、
時事通信社岐阜支局、中京テレビ放送(株)、
中日新聞社、中部経済新聞社、東海テレビ放送、
日刊工業新聞社名古屋支社、
日本経済新聞社名古屋支社、毎日新聞岐阜支局、
メ〜テレ、読売新聞社

作品リストは39ページ



IAMAS ARTIST FILE #08 福島諭 記譜、そして、呼吸する時間

No.	作家名	作品名	制作年	ジャンル・素材〔上映時間〕	他
1	濱地潤一 + 福島 諭	変容の対象 2009 - 2020	2009 - 2020	楽譜(紙 / データ / web) 《変容の対象》再生プログラム	
2	遠藤 龍 + 福島 諭 制作 遠藤 龍 写真プリント	並列画像 No.01 - No.12 No.01 e_211031 f_211120 No.02 e_211127 f_211126 No.03 e_211212 f_211229 No.04 e_220101 f_220101 No.05 f_220126 e_220103 No.06 f_220129 e_220208 No.07 f_220211 e_220210 No.08 f_220218 e_220223 No.09 e_220225 f_220313 No.10 e_220406 f_220325 No.11 f_220507 e_220417 No.12 f_220507 e_220523	2021 - 2022	3000pixel × 3000pixel	
3	福島 諭 写真データ, ヴィジュアル プログラミング gp (濱地潤一 + 飛谷謙介 + 福島 諭) 音響	Twil The Light (051-057) ムービー 1'00"	2018	映像 MP4 (H.264) [1分]	
4	遠藤 龍 + 福島 諭 制作 遠藤 龍 スライド制作	20211001 -	2021-	映像 HEVC (H.265) [3分10秒]	
5	原田和馬 + 福島 諭 制作 原田和馬 スライド制作	No.1 20211120 - 1128 No.2 20211201 - 1210 No.3 20211211 - 1226 No.4 20211227 - 20220110 No.5 20220111 - 0125 No.6 20220126 - 0210 No.7 20220211 - 0316 No.8 20220319 - 0416 No.9 20220418 - 0525	2021 - 2022	映像 HEVC (H.265) [10分26秒]	
6	福島 諭 制作 鈴木 生子(クラリネット) 音源 高橋 悠(Tangent Design Inc.) スピーカーオブジェクト	設置音楽《patrinia yellow》 for clarinet and computer	2022	コンピューター / 再生プログラム / 4つのスピーカー / オーディオ・イ ンターフェイス / 1つのスピーカー・オ ブジェクト [11分]	2014年 第18回文化庁メディ ア芸術祭 アート部門 優秀賞
7	福島 諭 作曲 鈴木 生子(クラリネット)、 伊藤 めぐみ(クラリネット)、 櫻田 はるか(クラリネット)、 山口 裕加(オーボエ)、 濱地 潤一(アルトサクソフォン) 音源 高橋 悠(Tangent Design Inc.) スピーカーオブジェクト	設置音楽《春、十五葉》 〜五管の木管アンサンブルとコン ピュータのための〜 2022 15'00"	2022	コンピューター / 再生プログラム / 6つのスピーカー / オーディオ・イ ンターフェイス / 3つのスピーカー オブジェクト [15分]	
8	佐藤慶次郎	エレクトロニック ラーガ	1979	映像(4K-digital、16:9、ステレオ) [5分38秒]	岐阜県美術館蔵(特別展示)
9	佐藤慶次郎	花開	1974	映像(4K-digital、16:9、ステレオ) [5分38秒]	岐阜県美術館蔵(特別展示)



第11回円空大賞展

作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵
須藤玲子	こいのぼりなう! 布の迷路	2023	天然繊維、化学繊維、再生繊維	
		2023	天然繊維、化学繊維、再生繊維	
デイヴィッド・ナッシュ	二つの器 家族の木 1967-1993[右] 家族の木 1967-1993[左] Wooden Boulder	1993	木(カバ)	神奈川県立近代美術館
		1993	紙に木炭、パステル、鉛筆、紙	神奈川県立近代美術館
		1993	紙に木炭、パステル、鉛筆、紙	神奈川県立近代美術館
		2019		作家蔵
中島晴美	不条理を開示する形態-1401	2014	磁器	個人蔵
	不条理を開示する形態-1405	2014	磁器	多治見市文化工房
	内なるかたち 2031	2020	磁器	多治見市文化工房
	ざわざわするかたち K	2022	磁器	多治見市文化工房
	ざわざわするかたち J	2022	磁器	多治見市文化工房
	不条理を開示する形態-1407	2014	磁器	現代美術 舩居
	ざわざわするかたち -2101	2021	磁器	目黒陶芸館
	ざわざわするかたち -2102	2021	磁器	目黒陶芸館
	ざわざわするかたち -2204	2022	磁器	個人蔵
	ざわざわするかたち -T1	2022	磁器	個人蔵
	ざわざわするかたち -2201	2022	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -2202	2022	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -2104	2021	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -2203	2022	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -2205	2022	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -2030	2020	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1611	2016	磁器	作家蔵
	理性の形態-1602	2016	磁器	作家蔵
	理性の形態-1509	2015	磁器	作家蔵
	理性の形態-05	2016	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -T2	2022	磁器	作家蔵
	ざわざわするかたち -T3	2022	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1502	2015	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1308	2013	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1403A	2014	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1401	2014	磁器	作家蔵
	不条理を開示する形態-1303	2013	磁器	作家蔵
	開示する形態-1705	2017	磁器	作家蔵
	開示する形態-1601	2016	磁器	作家蔵
	内なるかたち-16	2016	磁器	作家蔵
	内なるかたち-14	2021	磁器	作家蔵
	内なるかたち-2018	2020	磁器	作家蔵
舟越桂	遅い振り子	1992	楠に彩色、大理石、鉄	東京都現代美術館
	スフィンクスには何を問うか?	2020	楠に彩色、大理石、革	西村画廊
	青い体を船がゆく	2021	楠に彩色、大理石	西村画廊
	DR2219	2022	紙にオイルスティック、 オイルクレヨン、鉛筆	個人蔵
	DR2214(《青い体を船がゆく》の ためのドローイング)	2021	紙に鉛筆、パステル	作家蔵
	DR2109(《スフィンクスには何を問 うか?》のためのドローイング)	2019	紙に鉛筆、木炭	作家蔵
	DR1924	2019	紙にオイルスティック、 オイルパステル	KUO-Shen Yeh
	DR1614	2015	紙に木炭、コンテ	作家蔵
	海にとどく手	2016	楠に彩色、大理石、雑木	作家蔵
	冬の本	1988	楠に彩色、大理石	作家蔵
	水に映る月蝕	2003	楠に彩色、大理石	作家蔵
三島喜美代	リーフレット	2007	陶にシルクスクリーン	岐阜県現代陶芸美術館
円空	鬼子母神像			中観音堂(羽島市)
	聖徳太子像			中観音堂(羽島市)
	護法神像			長間薬師寺(羽島市)
	不動明王像			徳林寺(羽島市)
	薬師如来像			狐穴薬師堂(羽島市)
	聖観音像			金宝寺(羽島市)

1-4 アーティスト・イン・ミュージアム[AiM]

アーティスト・イン・ミュージアムは、アーティストを招聘して公開制作、作品展示を行う、いわゆるアーティスト・イン・レジデンス事業である。来場者がアーティストの制作現場を間近に見て、時には一緒に制作を体験し、さらに完成した作品を鑑賞することで、アートをより身近に感じてもらうことを目的としている。

アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.12 大平由香理

公開制作 2022/9/23 [金・祝] - 11/6 [日]

「アートが見過ぎてきた場所にアートを届ける」という信念から、年齢や障がいを超えて共に創作し交流する場を設けた。そこで皆が創作したものを、県美術館アトリエにて大画面の作品に取り込み再構成し、岐阜の清流、人の繋がり、脈打つような創造へのエネルギーを表す「私たち」の絵を制作した。

✂ 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 アトリエ
- ・観覧料: 無料
- ・観覧者数: 2,473人
- ・協力: (公財) 岐阜県教育文化財団・岐阜県障がい者芸術文化支援センター [TASC ぎふ]、(一社) LiC-GiO [生活介護事業所 クリパラボ]

✂ 事前連携企画

クリパラボ×県美 共同研究会 (7/19-7/22)
TASC ぎふ×県美 スペシャルDAY (7/27)



アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.13 力石咲

公開制作 2023/1/21 [土] - 2/26 [日]

作品展示 2023/3/4 [土] - 3/12 [日]

作品素材の糸は、編み解くことで姿を変え、再生可能であることに着目し、繊維産業や環境負荷の低い染色について県内調査を行った。過去作で使用後、長期保管していた糸を利用し「ほどける絵画・彫刻」の制作と「ほどくパフォーマンス」を行い、自らの手による構築と解体を披露し、編み解く行為の連鎖を表現した。

✂ 概要

- ・会場: 岐阜県美術館 アトリエ
- ・観覧料: 無料
- ・観覧者数: 1,580人
- ・協力: 大垣化染株式会社、岐阜県毛織工業協同組合 [テキスタイルマテリアルセンター]、岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科

